

天皇陛下御即位記念 いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

国体開催100日前イベント

道の駅常陸大宮～かわプラザ～で、国体開催100日前イベントが開催されました。

ステージでは、子供歌舞伎の口上（西塩子の回り舞台）、鶯子囃子（鶯子祭囃子保存会）、なぎなた演武（市なぎなた連盟）などが行われ会場を盛り上げました。

テントでは、常陸大宮高校 HIOKO ホールディングス・工業科、市食生活改善推進員連絡協議会、市なぎなた連盟、東京オリパラ推進室からパラリンピック正式競技となった「ボッチャ」体験、道の駅常陸大宮～かわプラザ～から飲食物などのブースが出店しました。

ステージイベント



▲立派な口上を披露しました



▲軽快なお囃子でした



▲なぎなた演武

出店ブース



▲常陸大宮高校ブース



▲市食生活改善推進員連絡協議会ブース



▲東京オリパラ推進室「ボッチャ」体験ブース



▲道の駅常陸大宮～かわプラザ～ブース

炬火名が決定しました！常陸大宮風土記の火

【由来】今から1300年ほど前の奈良時代にまとめられた書物「常陸国風土記」に、常陸大宮市産のメノウの火打石が記載されています。この火打石は、江戸時代でも「水戸火打石」と親しまれ、侍から庶民まで江戸の住民のほとんどが使っていたといわれています。

炬火の火種は火打石からとったため、本市の国体の炬火の名前を「常陸大宮風土記の火」としました。この火は、9月28日に笠松運動公園陸上競技場で開催される第74回国民体育大会総合開会式で県内44市町村の火と一緒に、いきいき茨城ゆめの火となります。

炬火リレー

ステージイベントと並行して、大賀小学校では児童が火打石から炬火リレーの火を起こし、4年生から6年生36人全員で道の駅常陸大宮～かわプラザ～まで運びました。みんなで声を掛け合いながら一生懸命走り、三次市長へリレーしました。



▲火打石で火を起こしました



▲一生懸命走りました

いきいき茨城ゆめ国体「なぎなた競技」
日時：9月29日(日)～10月1日(火)
場所：西部総合公園体育館



▲ダンス後、磯山純さんと記念撮影

常陸大宮高生作！国体 PR 看板設置

県立常陸大宮高等学校機械科の生徒が製作した国体のPR看板を、国道293号線沿いの物産センター



▲設置の様子

かざぐるま（小舟）に設置しました。お立ち寄りの際はぜひご覧ください！



▲常陸大宮高校の皆さんありがとうございました！